

# 2018年3月期 決算補足資料

---

2018年5月11日  
株式会社ウイルグループ（東証一部 6089）



I .18年3月期実績

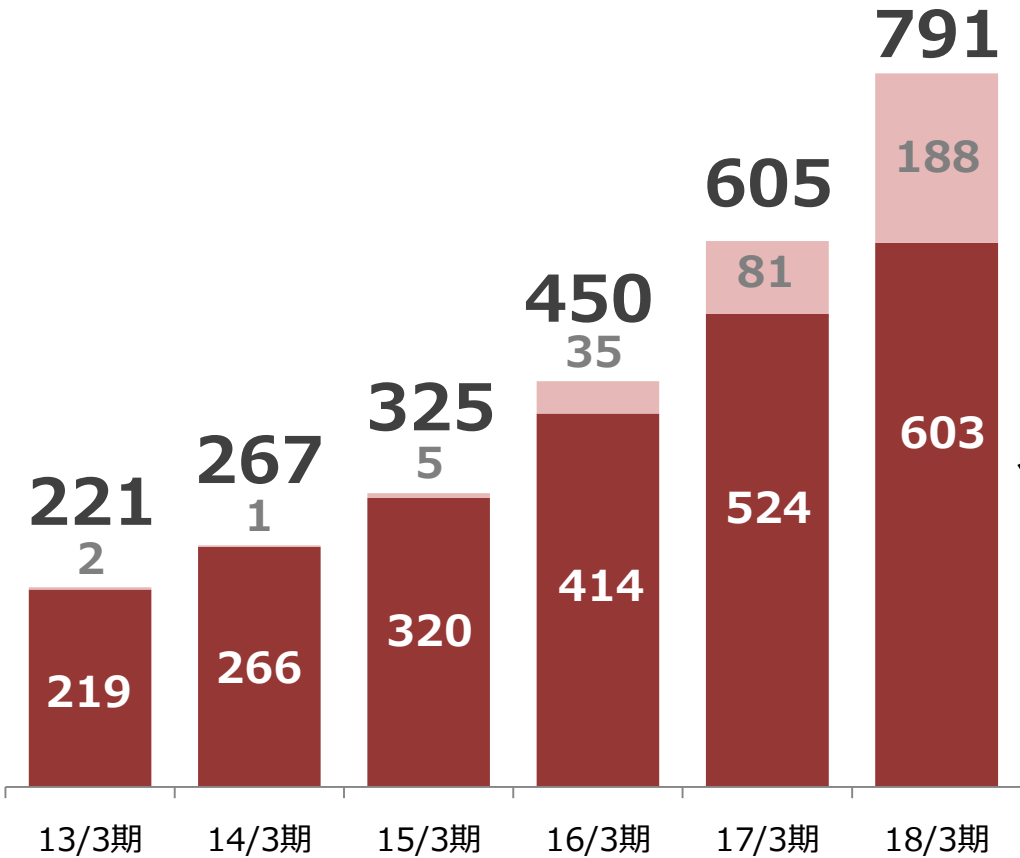
II .19年3月期業績予想及び配当予想

III .18年3月期トピックス

# I .18年3月期実績

# 連結売上高（前年同期比）

(億円)



## +185億円

M&A

## +106億円

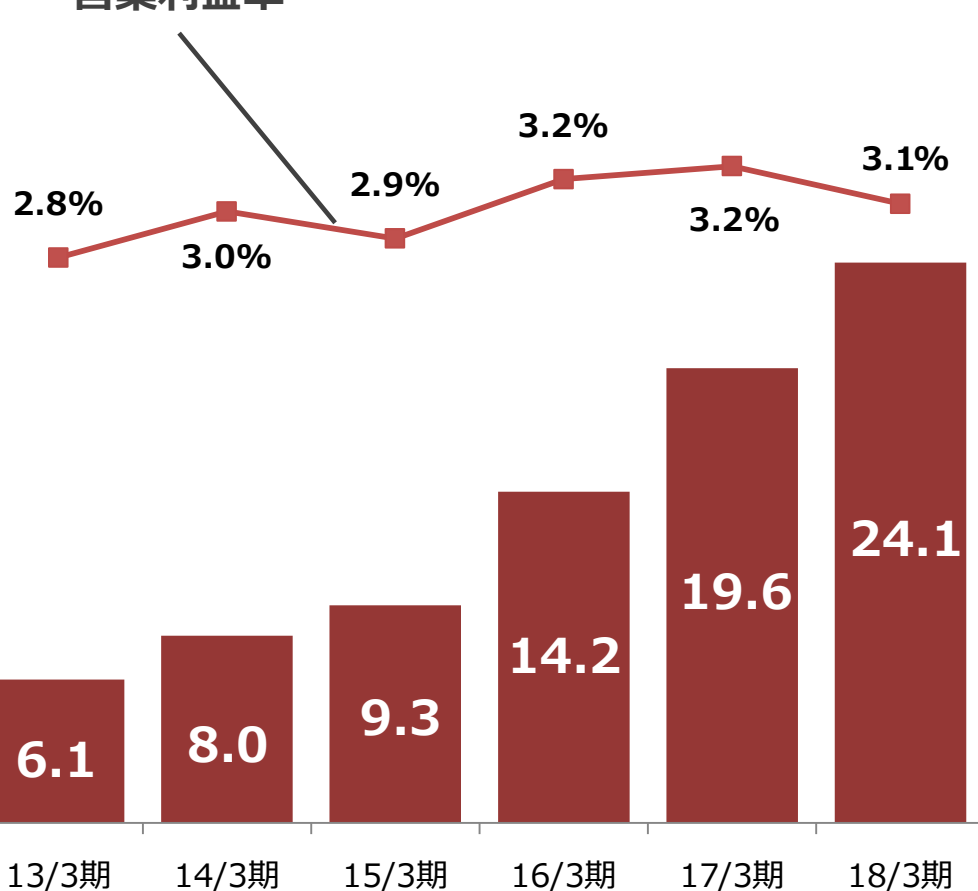
オーガニック

## +79億円

## +4.5億円

(億円)

営業利益率



M&A

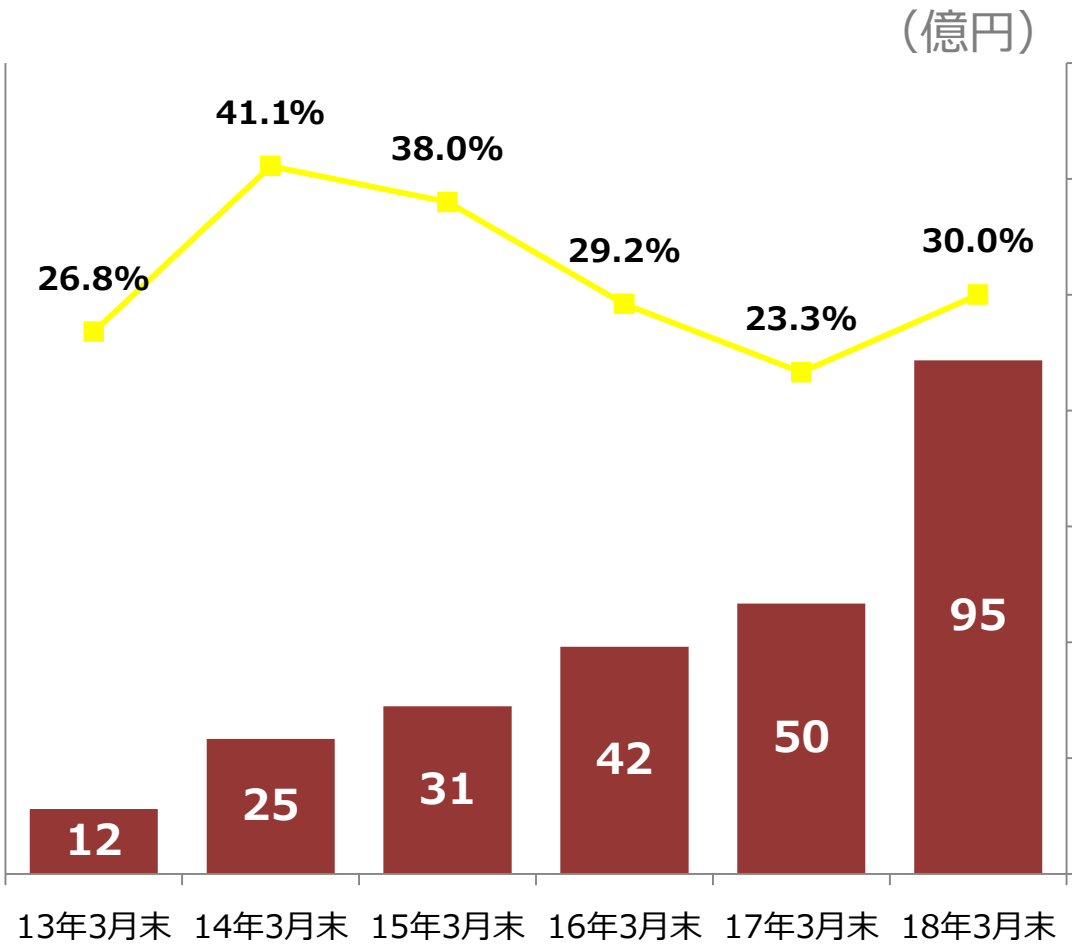
+2.7億円

オーガニック

+4.4億円

調整額 (本社経費含む)

△2.5億円

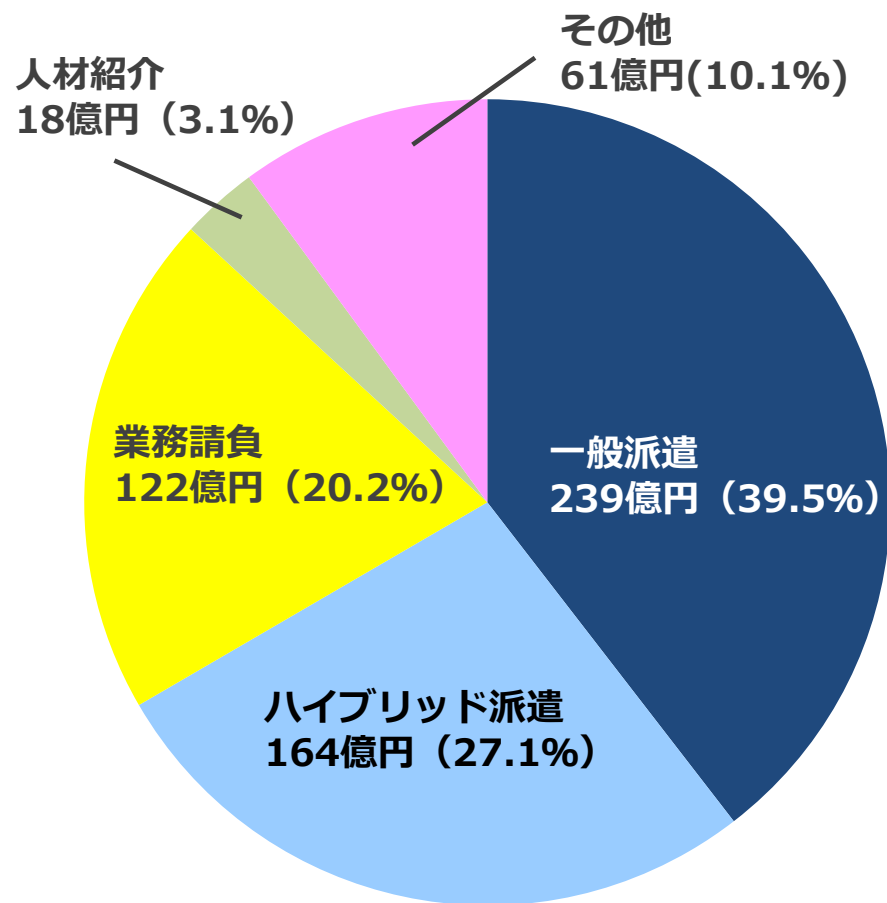


## 6.7pt改善 (前年度末比)

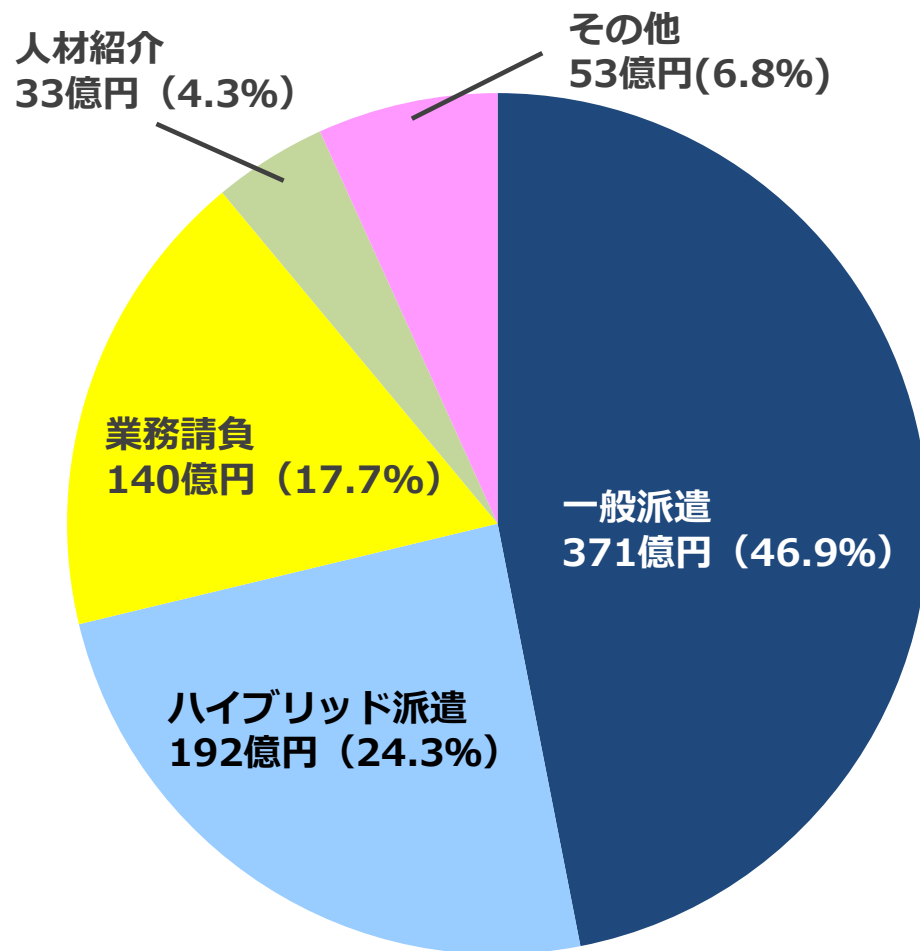
## 国内、海外とも堅調に推移し、業績予想を上回る

単位：百万円	17年3月期	18年3月期	増減	増減率	業績予想	増減	達成率
売上高	60,599	<b>79,197</b>	18,597	30.7%	<b>75,000</b>	4,197	105.6%
売上総利益 (売上総利益率)	11,774 (19.4%)	<b>16,058</b> <b>(20.3%)</b>	4,283 (+0,8pt)	36.4%	-	-	-
営業利益 (営業利益率)	1,963 (3.2%)	<b>2,417</b> <b>(3.1%)</b>	454 (△0.2pt)	23.1%	<b>2,250</b>	167	107.5%
経常利益	1,980	<b>2,437</b>	457	23.1%	<b>2,250</b>	187	108.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,011	<b>1,210</b>	198	19.6%	<b>1,100</b>	110	110.0%
EBITDA	2,375	<b>3,044</b>	668	28.2%	<b>2,790</b>	254	109.1%
		従業員数：2,044人 (前期末比：804人増)			フィールドサポーター：482人 (前期末比：144人増)		

2017年3月期

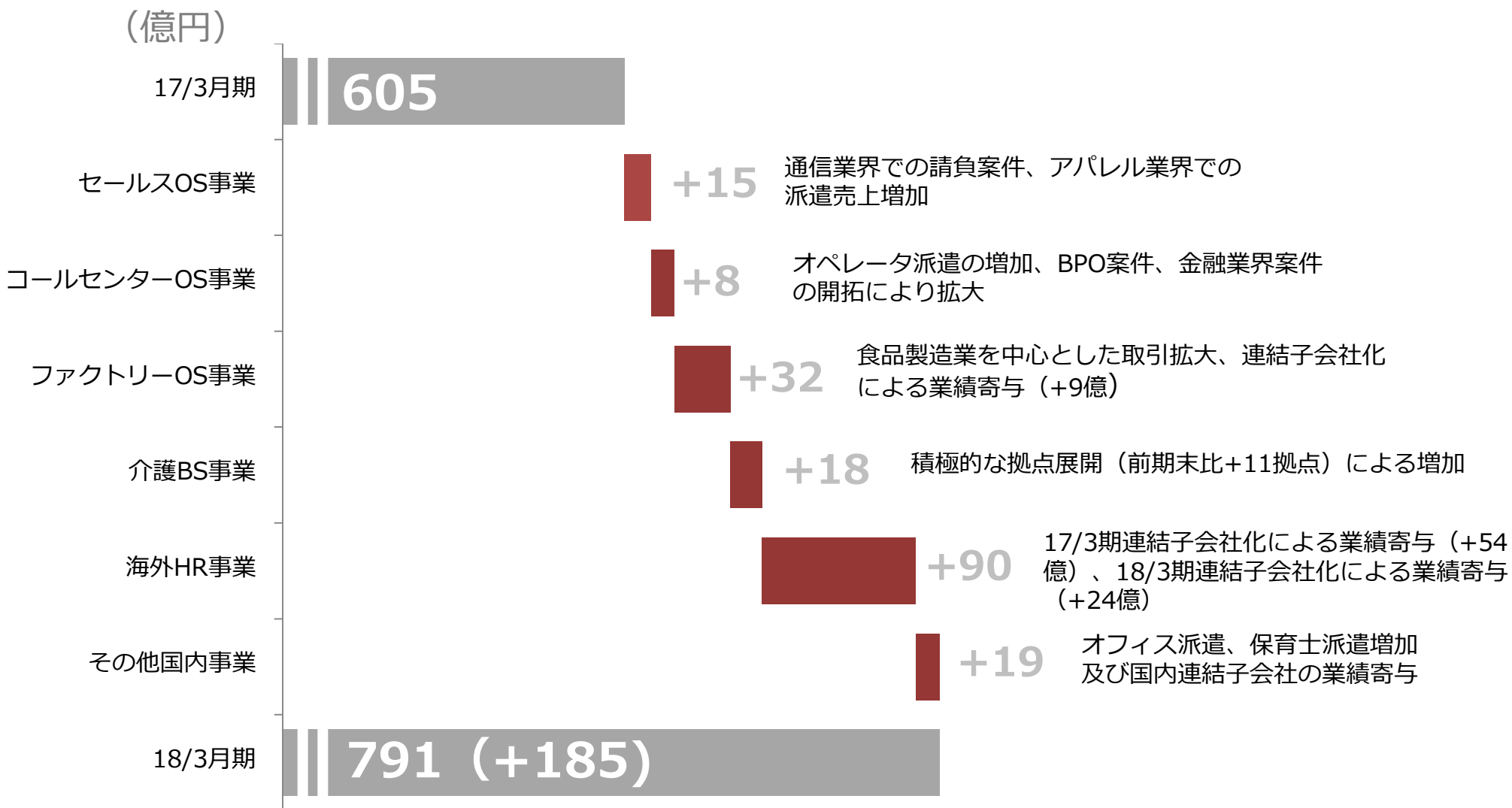


2018年3月期

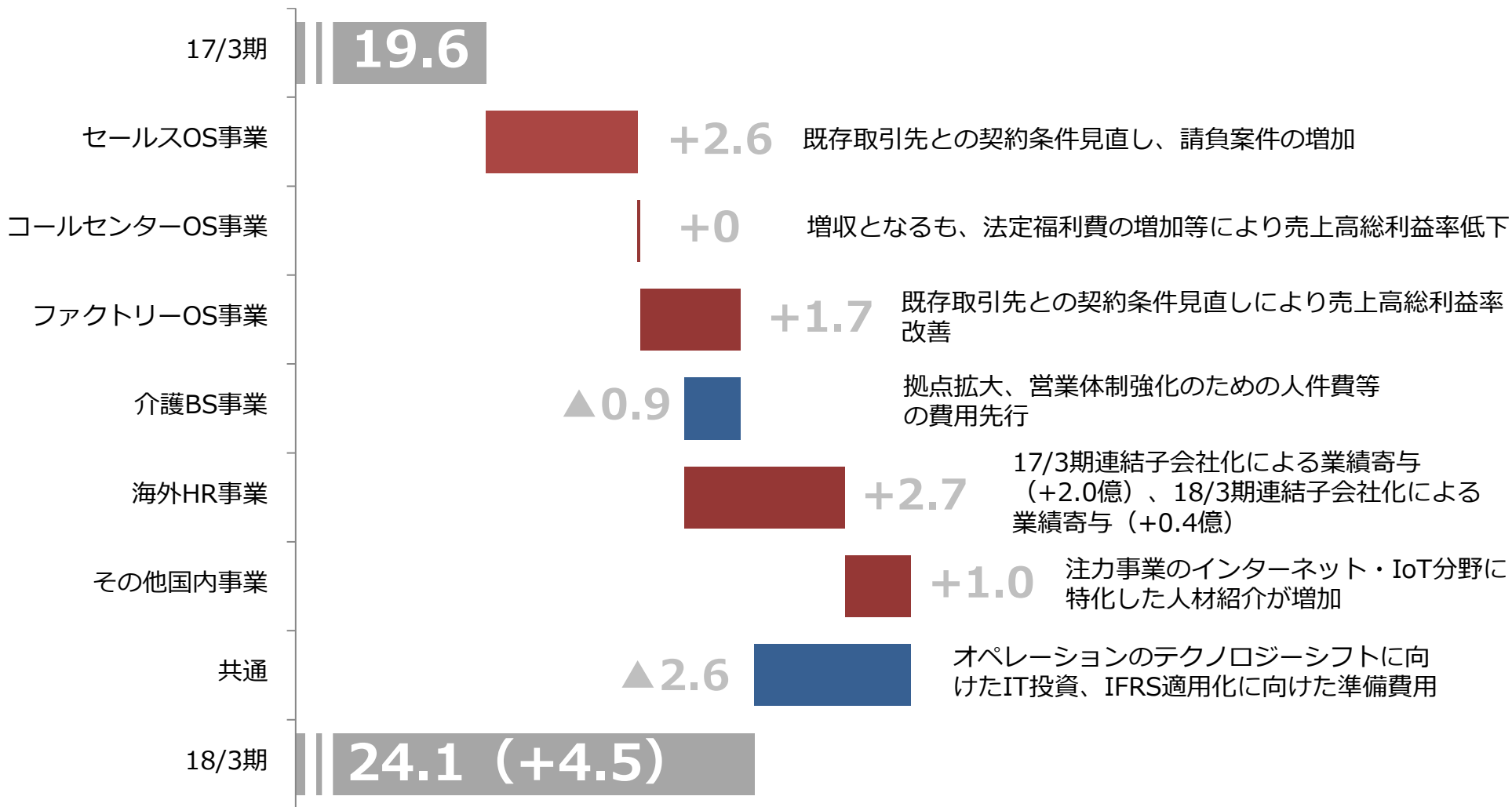




# 18/3期 売上高増減内訳



(億円)



## ■ 前年同期比

単位：百万円	17/3期	18/3期	増減	増減率
売上高	20,071	21,654	1,583	7.9%
セグメント利益	1,489	1,749	260	17.5%

## ■ 売上高（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	4,595	4,818	5,277	5,380
18/3期	5,231	5,194	5,737	5,490

## ■ セグメント利益（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	211	349	419	510
18/3期	468	438	446	395

## ■ 18/3期 業績の概況

### ● 売上高 増収

- ・ (株)セントメディアにおいて、通信業界での請負案件の増加、アパレル業界での派遣売上の増加、(株)クリエイティブバンクにおいても、大手IT関連企業の受注案件増加により増収

### ● セグメント利益 増益

- ・ (株)セントメディアにおいて、既存取引先との契約条件の見直し、請負案件の受注の拡大により増益  
4Qは、正社員、スタッフ採用を強化したため採用費が増加したこと等により減益

## ■ 前年同期比

単位：百万円	17/3期	18/3期	増減	増減率
売上高	12,352	<b>13,178</b>	825	6.7%
セグメント利益	699	<b>704</b>	5	0.7%

## ■ 売上高（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	2,851	3,160	3,187	<b>3,152</b>
18/3期	3,207	3,440	3,415	<b>3,114</b>

## ■ セグメント利益（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	120	177	173	<b>228</b>
18/3期	171	220	186	<b>127</b>

## ■ 18/3期 業績の概況

### ● 売上高 増収

- ・近年のスマートフォン市場の急速な拡大に伴うアフターサービスの需要を背景として、操作説明を行うオペレータ等の増員需要の他、BPO※市場、金融業界等における案件拡大により増収

### ● セグメント利益 増益

- ・売上総利益率が低下するも、売上高の増加により増益  
4Qについては、売上高総利益率の低下、スタッフ採用を強化したため採用費が増加したこと等により減益

※企業の業務プロセスの一部を継続的に外部の企業に委託すること

## ■ 前年同期比

単位：百万円	17/3期	18/3期	増減	増減率
売上高	13,697	16,994	3,296	24.1%
セグメント利益	719	891	172	24.0%

## ■ 売上高（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	3,157	3,363	3,554	3,622
18/3期	3,770	3,891	4,749	4,582

## ■ セグメント利益（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	143	151	188	236
18/3期	208	211	269	202

## ■ 18/3期 業績の概況

### ● 売上高 増収

- ・惣菜、コンビニエンスストア向けスイーツ、弁当の中食等の需要が堅調に推移するなか、食品製造業を中心とする取引拡大、営業展開地域の拡大、新規顧客の開拓に注力。また、(株)リトルシーズサービスの連結子会社化（2017年9月）も業績寄与し増収

### ● セグメント利益 増益

- ・営業展開地域の拡大（前期末比：+5拠点）に伴い人件費等が増加するも、増収、売上高総利益率の改善により増益
- ・4Qは、次期に向け拠点開設（5拠点）を前倒し実施

## ■ 前年同期比

単位：百万円	17/3期	18/3期	増減	増減率
売上高	5,244	<b>7,140</b>	1,895	36.1%
セグメント利益	80	<b>△16</b>	△97	-

## ■ 売上高（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	1,102	1,287	1,377	<b>1,477</b>
18/3期	1,588	1,761	1,886	<b>1,902</b>

## ■ セグメント利益（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	△31	24	19	<b>68</b>
18/3期	△46	6	24	<b>△0</b>

## ■ 18/3期 業績の概況

### ● 売上高 増収

- 積極的な拠点展開（前期末比+11拠点）、介護施設の開拓、就業フォロー・顧客企業に対する多様な働き方の提案強化により、稼働スタッフ増加。また、スタッフ育成に向けて、当社及び介護施設スタッフの研修施設として「ウィルケアアカデミー」を2017年11月に開校。

### ● セグメント利益 減益

- 拠点新設費用、営業体制の強化による人件費等の費用が先行。4Qも6拠点の開設、スタッフ採用を強化したため費用が先行。

## ■ 前年同期比

単位：百万円	17/3期	18/3期	増減	増減率
売上高	4,108	13,170	9,062	220.6%
セグメント利益	77	352	274	354.5%

## ■ 売上高（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	618	648	738	2,102
18/3期	2,382	2,860	2,874	5,053

## ■ セグメント利益（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	12	12	9	42
18/3期	21	174	84	71

## ■ 18/3期 業績の概況

### ● 売上高 増収

- ・ Asia Recruit Holdings Sdn.Bhd.の連結子会社化（2016年6月）、Ethos Corporation Pty Ltd 他2社の連結子会社化（2017年1月）が当期首より業績寄与したこと、DFP Recruitment Holdings Pty Ltd の連結子会社化（2018年1月）により順調に拡大。

### ● セグメント利益 増益

- ・ 事業規模の拡大により増益

※18/3期より、報告セグメントに記載する方法に変更しております。そのため、17/3期、四半期毎の比較につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値としております。

## ■ 前年同期比

単位：百万円	17/3期	18/3期	増減	増減率
売上高	5,125	7,059	1,934	37.7%
セグメント利益	139	246	107	76.5%

## ■ 売上高（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	1,110	1,191	1,181	1,641
18/3期	1,583	1,662	1,829	1,983

## ■ セグメント利益（会計期間）

単位：百万円	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	△14	68	20	65
18/3期	19	49	89	88

## ■ 18/3期 業績の概況

### ● 売上高 増収

- ・ インターネット、IoT分野における人材紹介は、近年のIPOブームを背景としたインターネット・IoTベンチャーにおける幹部人材需要の高まりを受け、順調に拡大
- ・ オフィス等への人材派遣は、営業体制、シニア人材支援を強化
- ・ ALT派遣は、引き続き多くの自治体で英語教育充実への関心が高く、既存案件の継続受注、新規案件獲得により拡大
- ・ 保育士の派遣・紹介サービスも順調に拡大

### ● セグメント利益 増益

- ・ インターネット、IoT分野における人材紹介が順調に拡大したことにより増益



単位：百万円	2017年 3月末	2018年 3月末	増減
流動資産	14,361	<b>22,797</b>	8,436
固定資産	2,939	<b>4,699</b>	1,760
資産合計	17,300	<b>27,496</b>	10,196
流動負債	9,950	<b>15,542</b>	5,591
固定負債	2,331	<b>2,437</b>	106
負債合計	12,282	<b>17,979</b>	5,697
純資産合計	5,018	<b>9,517</b>	4,498
負債純資産合計	17,300	<b>27,496</b>	10,196
自己資本比率	23.3%	<b>30.0%</b>	+6.7pt

## ■ 増減の主な要因

### ● 資産

- ・ 現金及び預金 +5,579百万円
- ・ 受取手形及び売掛金 +2,201百万円
- ・ 有形固定資産 +512百万円
- ・ 無形固定資産 +896百万円
- ・ 投資その他の資産 +351百万円

### ● 負債

- ・ 短期借入金 +1,802百万円
- ・ 未払金 +1,567百万円
- ・ 未払費用 +526百万円
- ・ その他 +847百万円
- ・ 長期借入金 +94百万円

### ● 純資産

- ・ 資本金 +1,384百万円
- ・ 資本剰余金 +1,671百万円
- ・ 利益剰余金 +952百万円
- ・ 非支配株主持分 +222百万円
- ・ 自己株式 △314百万円

単位：百万円	17/3期	18/3期
営業活動による キャッシュ・フロー	38	<b>3,503</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,576	△ <b>2,095</b>
財務活動による キャッシュ・フロー	2,446	<b>3,971</b>
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△30	<b>153</b>
現金及び現金同等物 の増減額	877	<b>5,532</b>
現金及び現金同等物 の期末残高	3,627	<b>9,159</b>

## ■ 主な内訳

### ● 営業CF

・ 税金等調整前当期純利益	+2,412百万円
・ 未払金の増加	+907百万円
・ 預り金の増加	+562百万円
・ 未払費用の増加	+479百万円
・ のれん償却額	+388百万円
・ 法人税等の支払い	△1,024百万円
・ 売上債権の増加	△640百万円

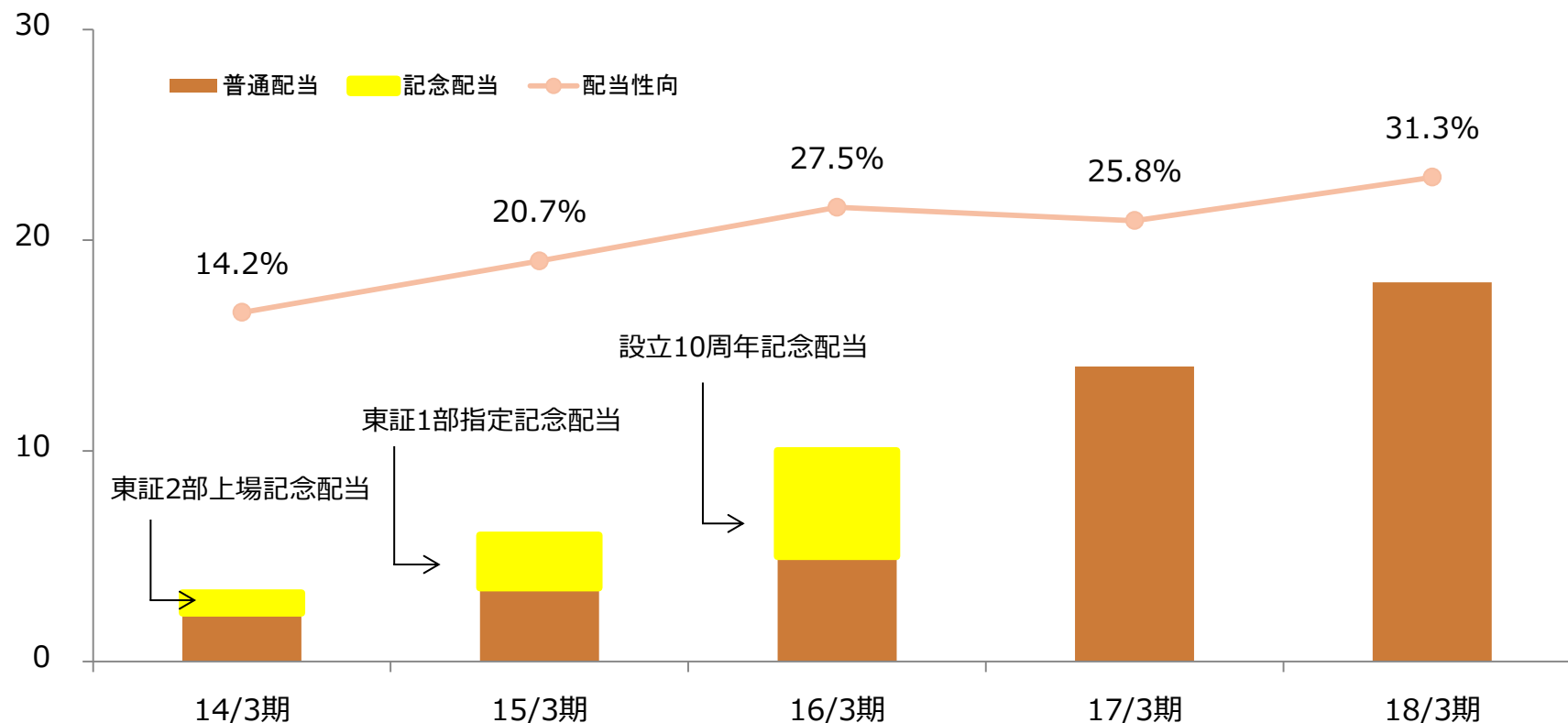
### ● 投資CF

・ 連結範囲の変更を 伴う子会社株式取得	△1,403百万円
・ 有形固定資産の取得	△298百万円
・ 無形固定資産の取得	△196百万円
・ 投資有価証券の取得	△159百万円

### ● 財務CF

・ 株式の発行による収入	+2,740百万円
・ 長期借入による収入	+1,870百万円
・ 短期借入金の純増額	+1,157百万円
・ 長期借入の返済による支出	△2,014百万円

## 期首配当予想（14円）より4円増配し、 配当は18円 配当性向：31.3%



当ページの1株当たり配当金は、2013年10月10日株式分割（1：200）、2014年9月1日株式分割（1：2）、2015年9月1日株式分割（1：2）、2016年12月1日（1：2）の株式分割を遡及計算して記載しております。

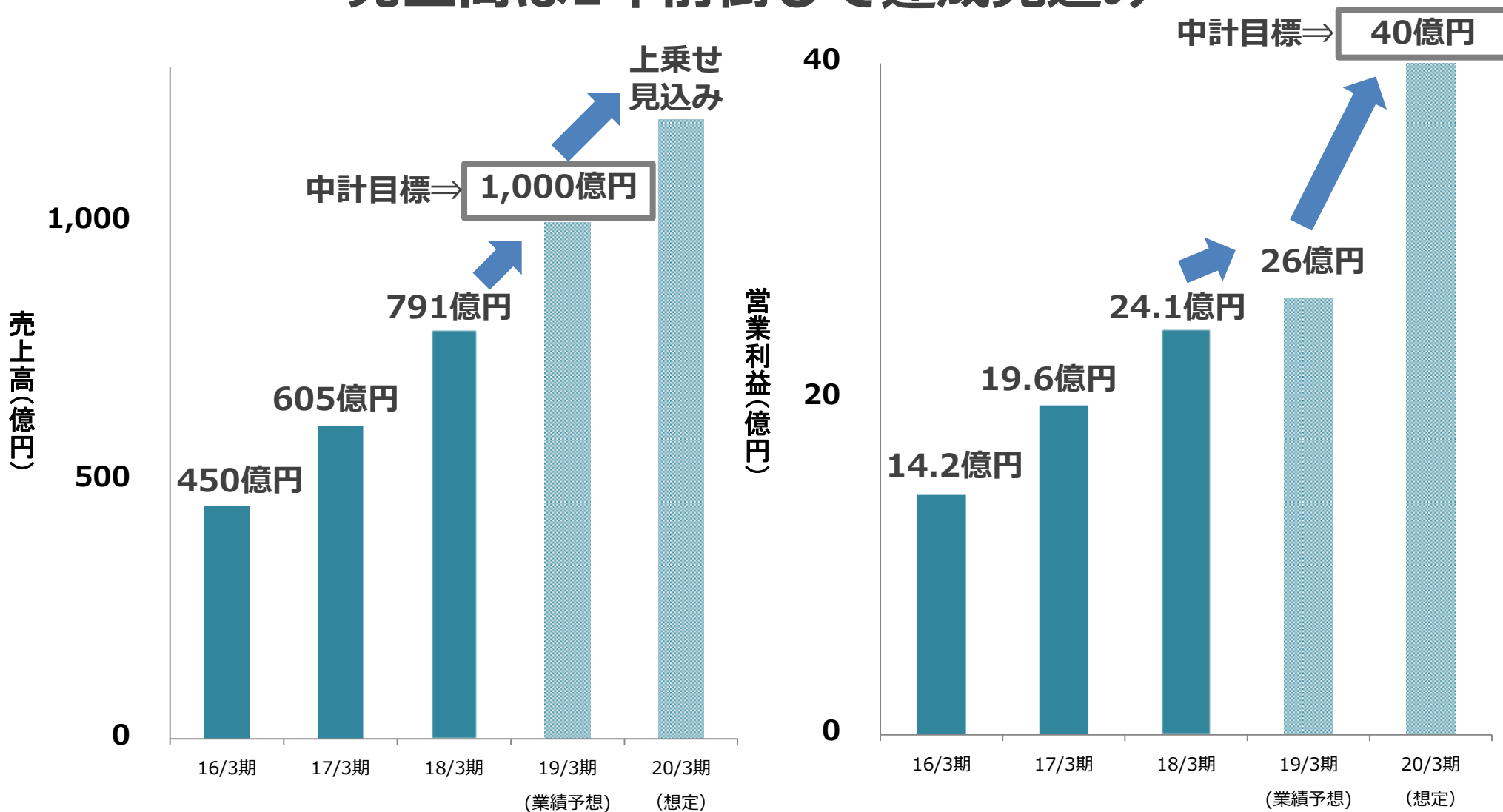
## Ⅱ.19/3月期業績予想及び配当予想

### 中計目標の売上高：1,000億円1年前倒し見込み また、20/3期を見据え費用先行

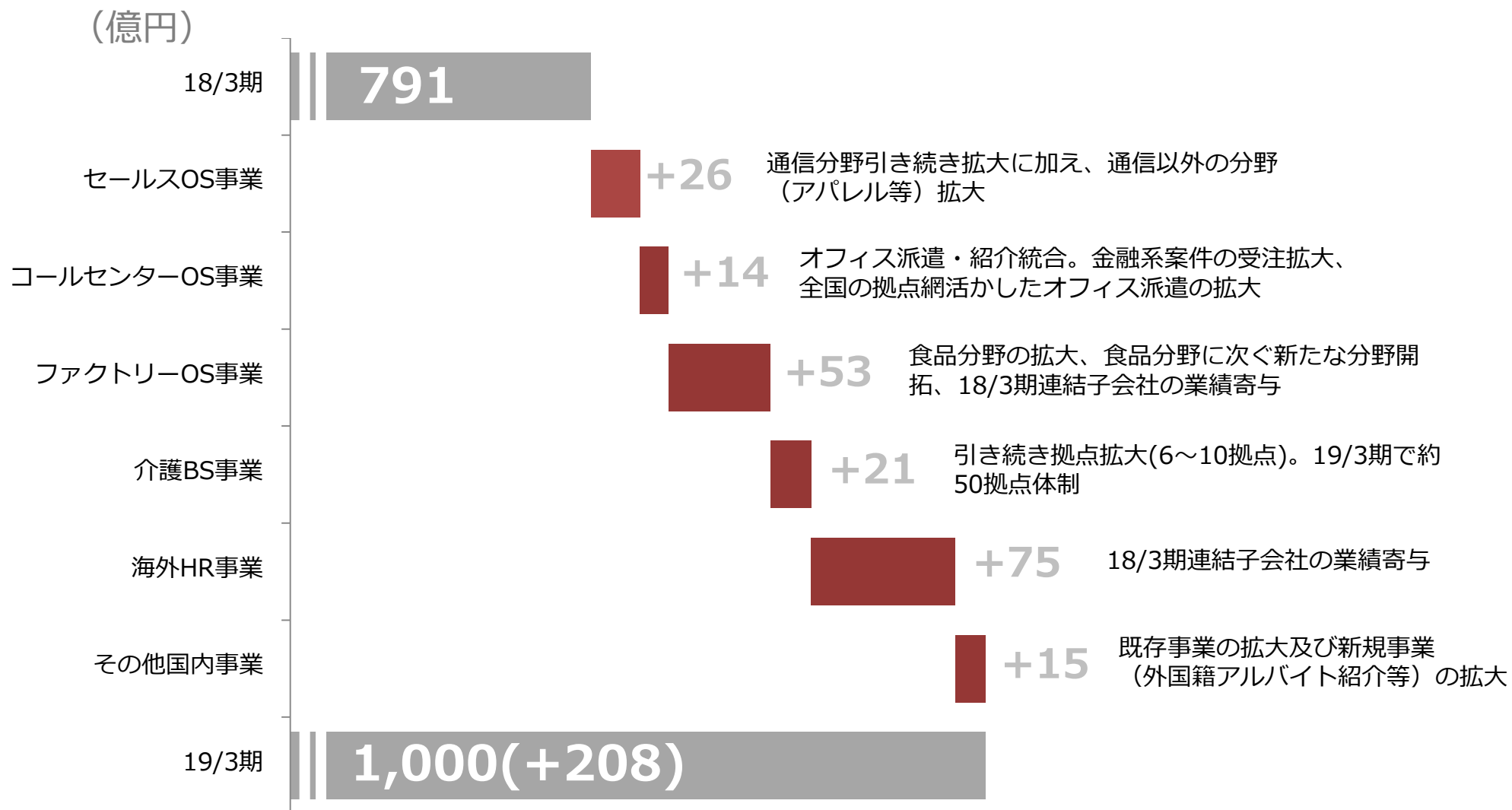
単位：百万円	18/3期（実績）	19/3期（予想）	増減	増減率
売上高	79,197	100,000	20,802	26.3%
SO事業	21,654	24,270	2,615	12.1%
CO事業※	16,793	18,280	1,486	8.9%
FO事業	16,994	22,350	5,355	31.5%
介護ビジネス支援事業	7,140	9,300	2,159	30.3%
海外HR事業	13,170	20,760	7,589	57.6%
その他	3,443	5,040	1,596	46.3%
営業利益 (営業利益率)	2,417 (3.1%)	2,600 (2.6%)	182 (△0.5pt)	7.5%
経常利益	2,437	2,600	162	6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,210	1,350	139	11.6%
EBITDA	3,044	3,440	395	13.0%

※19/3期より、従来「その他」に含まれていたオフィス向け派遣・紹介事業を、CO事業に統合しております。

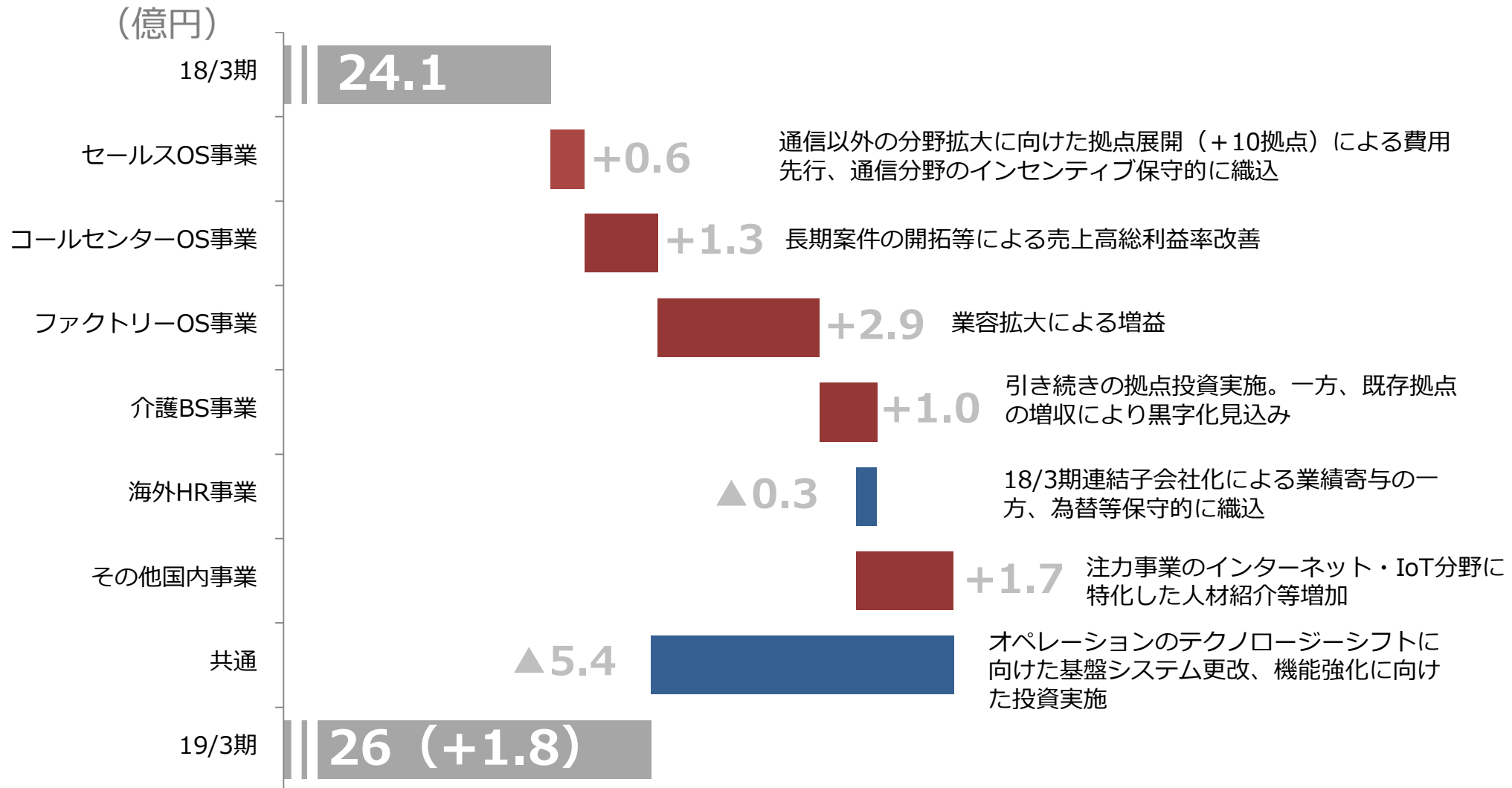
## 売上高は1年前倒しで達成見込み



# 19/3期（予想） 売上高増減内訳



# 19/3期（予想） 営業利益増減内訳





# 19年3月期は18年3月期据置きで予想 業績進捗に応じて都度検討

	17年3月期 期末	18年3月期 期末	19年3月期 期末 (予想)
1 株 当たり 配当額 (配当 性向)	14円 (25.8%)	18円 (31.3%)	<b>18円</b> (29.5%)

## Ⅲ.18/3期トピックス

## 福島県を中心に人材派遣・業務請負事業を展開しているリトルシーズサービスの全株式取得（2017年9月）

### 【会社概要】

会社名 : 株式会社リトルシーズサービス  
本社 : 福島県  
売上高 : 1,357百万円（2016年9月期）  
営業利益 : 80百万円（2016年9月期）  
当期純利益 : 36百万円（2016年9月期）



## オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業等、様々な業界の機関、企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材派遣及び人材紹介のサービスを提供するDFP Recruitment Holdings Pty. Ltd.の株式を60%取得（2018年1月）

### 【会社概要】

会社名 : DFP Recruitment Holdings Pty Ltd  
拠点 : オーストラリア  
売上高 : 11,202百万円（2017年6月期）  
税引前当期純利益 : 269百万円（2017年6月期）



1オーストラリアドルあたり85円50銭で換算しております。



# WILL GROUP

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ■ IRに関するお問い合わせ先

**株式会社 ウィルグループ** 経営企画部

Mail : [ir@willgroup.co.jp](mailto:ir@willgroup.co.jp)